

『経営改善計画』- 国鉄35万人体制攻撃を粉碎しよう

日刊 動労千葉

82.1.9

No. 938

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）四三三二・七二〇七

合理化積極推進部隊「動労本部」 革マル反動分子を追放・一掃しよう！



はじめに
全組合員の皆さん。全ての国鉄労働者の皆さん。そして全国
の闘う労働者の皆さん。

今日、国鉄をめぐる情勢は、文字通り風雲急を告げています。
昨年九月二十一日、国鉄当局は、「不転換の決意」をもって
「後のない計画」国鉄三五万人体制「経営改善計画」を国
鉄内各労組に提案しました。そして、これに相前後してマスコ
ミは、連日にわたって「国鉄問題」をキャンペーンしています。
さらに、鈴木自民党政府及び「行革」大合理化を推進する「

第二臨調」（第四部会）は、「『経営改善計画』は不充分、二五万／二七万人体制
実現、国鉄分割論、民営論」をとえています。国鉄当局は、今日、こうした政府
・自民党の強い要請に答え、57・11ダイ改に最大の焦点を置いた「経営改善計画」
の前だおし実現にむけて矢継早やに合理化攻撃をかけてきています。この攻撃こそ
国鉄労働運動の徹底的破壊を狙ったものであり、これに抗する闘いを闘い抜くため
の一糧にするために日刊紙上で各項にわけて攻撃の本質を暴露していきたいと思
います。

恐るべき国鉄三五万人体制攻撃の本質！！

この「経営改善計画」国鉄
大合理化Ⅱ全面的再編攻撃のね
らいが、第一に、これまでの数
次にわたる合理化攻撃をはるか
に上廻る四年間で七万四千人の
削減という徹底した要員合理化
攻撃であること。

動労「本部」反動分子 の反動の実態

第二に、労資関係の改善―当
局による職場支配権の確立―国
鉄労働運動の最後の破壊・解体
を通して第二マル生運動を大々
的に推進することをもって完全
にゆきづまった国鉄経営Ⅱ国鉄
危機を突破しようとしているこ
と。

このような極めて恐るべき大
合理化攻撃に対し、国労・動労
中央は、「三五万人体制以上の
合理化を食いとめなければなら
ない」とか、「合理化絶対反対
論は、もはや通用しない」「国
鉄の社会的必要論」などと、政
府・国鉄当局の攻撃の前に全面
的屈服と率先協力しているのが
実態です。

第三にこうした攻撃をもって
より徹底した独占資本本位の国
鉄輸送体制を確立し、同時に日
本帝国主義の軍事大国化―侵略
戦争体制の一翼を担う国鉄にし
ようとする極めて反動的、反労
働者の攻撃であること。

まさに、この「経営改善計画」
こそ、いままでの国鉄のあり方

護する役割を担っています。
国鉄労働運動は、最大の危機
に直面しています。
われわれは、国鉄三五万人体
制攻撃の正念場をむかえた今日、
国鉄労働者の死活をかけて全職
場・支部からの闘いを組織し、
この恐るべき大攻撃の粉碎にむ
け決起しようではありませんか。

△以下つづく▽

国鉄を地域分割し 特殊法人化で改革

臨調で角本氏意見

毎日の新聞紙上で

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！